

## 胆江地区

## 緩和ケア医療従事者研修会

医師等を対象にした緩和ケア医療従事者研修会は、11月14日(土)～15日(日)に水沢グランドホテルにおいて開催され、当院から医師6名、看護師2名、訪問看護ステーションから看護師1名の9名が受講しました。



として掲げています。

今回の研修会は、これを踏まえ、がん診療に携わる医療従事者が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、治療の初期段階から緩和ケアが適切に提供されるようにすることを目的に、がん診療連携拠点病院として当院が主催したものです。



概論、がん性疼痛のワークショップやコミュニケーション講義が行われました。

研修会の開催について、がん対策推進基本計画では、「がん診療に携わる全ての医療従事者が、緩和ケアについての基本的な知識と技術を習得する」ことを目標

研修会は、最初に「公開講座」が開かれ、約20人の一般聴講者の参加がありました。

引き続きの研修会では、指導医の先生方による、緩和ケア

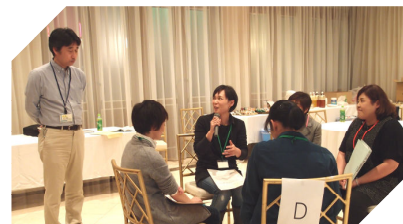
研修会は、双方向性講義(インタラクティブ・ティーチング)を取り入れています。

ただ参加するだけではなく、お互いが言葉で話すことにより、内容が深まっていきます。参加者は、グループに分かれ、緩和ケアの概論、つらさの包括的評価と症状緩和、がん疼痛の評価と治療、がん疼痛事例検討、呼吸困難、消化器症状(嘔気・嘔吐)、気持ちのつらさ、療養場所の選択と地域連携など、盛り沢山の内容にとりくみました。

グループの中では、課題ごとにリーダーや発表者を決め、お互いの意見を出し合いながら要点をまとめていました。

今回の研修会開催にあたっては、県立大船渡病院、総合花巻病院、県立中部病院、一関病院、岩手医科大学附属病院、県立磐井病院から指導医、認定看護師さんにご指導・援助をいただいていることを紹介します。

ご協力ありがとうございました。



## がん対策基本法では

研修会の開催期間は、2日以上で開催し、研修時間は12時間以上と決められています。

また、以下の内容が含まれることが必要です。

- ア) 苦痛のスクリーニングとその結果に応じた症状緩和について
- イ) がん疼痛の機序、評価及びWHO方式のがん疼痛治療法を基本とした疼痛緩和にかかる治療計画などを含む具体的なマネジメント方法



- ウ) 呼吸困難、消化器症状等のがん疼痛以外の身体症状に対する緩和ケア
  - エ) 不安、抑うつ及びせん妄等の精神心理的症状に対する緩和ケア
  - オ) がん緩和ケアにおけるコミュニケーション
  - カ) がんと診断されたときから行われる当該患者のがん治療全体の見通しについての説明について
  - キ) 患者の視点を取り入れた全人的な緩和ケアについて
  - ク) がん患者の療養場所の選択、地域における医療連携、在宅における緩和ケアの実際について
- などとなっております。